



あなたの「やりたい」を竹原の力に

～ 総会（NEXT VISION 2026）で若者・女性、企業が発表 ～

内容

令和8年5月27日、今年度のALL竹原の取組スタートとなる総会イベント「NEXT VISION 2026」が市役所1階多目的ホールで開催され、市民・企業・団体の方など約110名にご参加いただきました。

当日は事務局から令和8年度の事業内容として、たけはら楽しむ部（若者目線のSNS広報）、ロールモデルの発信、若者定着に係る職場改善の取組（セミナー、補助金）などが紹介されました。

その後、高校生、子育て中の女性、市内企業の皆さんが、それぞれの視点で、竹原をもっと良くしたいという熱い思いを発表しました。若者ならではの発想、子育て世代の実感、働きやすい職場づくりといった多様な視点が共有され、若者や女性の定着に向けた具体的な一歩となりました。



4グループによる発表

竹原高等学校の生徒、子育て女性グループ、アトム株式会社、株式会社テックの4チームが、それぞれの視点から竹原の未来につながるアイデアや取組を発表しました。

■竹原高等学校 学生グループ

竹高生のグループは、感動随感をテーマにした「竹原の自然との融合ツアー」、芸術体験をメインとした「竹原市にしかない芸術体験ツアー」の2つの観光ツアーを提案。また、近年の「コト消費」へのシフトや「アドベンチャーツーリズム」の拡大を踏まえ、若者世代に響く「ショート動画」を活用したSNSでの発信強化、そして市の公式LINEでのイベント情報発信の重要性を提案。



■子育て中の女性グループ

子育て中のママたちが集まったグループは、ママが選ぶリアルな情報として「公園」「子連れ対応トイレ」「子育てに優しい飲食店」の3点を挙げ、これらの情報をまとめたツールを作りたいと提案。また、子育て中の女性が働き続ける上での課題（子どもの病気で休める休暇枠の拡大、学校行事参加への理解、在宅・フレックス勤務、夕食テイクアウトのニーズ）に対し、企業に具体的に提案。



■アトム株式会社

「地域で最も働きたい企業」を目指す取組を発表。社員の約半数が女性で、若手社員や女性社員が安心＆長く働ける職場づくりに力を入れている。

- 【取組内容】ライフスタイルに合わせた働き方（フレックス制度）
社員同士の交流を深める取組（忘年会費用補助）
自分らしく働ける環境（髪型・ネイル自由）
安心して相談できる環境（交換日記等）、多様な社内イベント
地域活動への参加支援、研修や勉強会、充実した福利厚生 など
⇒ Instagramで社内雰囲気や働く人の魅力も発信。



■株式会社テック

「選ばれる職場づくり」をテーマに、採用難や早期離職という課題を克服するための取組を発表。同社の5つの改革を紹介。

- 【取組内容】休みを取りやすくする取組（看護休暇の有給化、長期休暇中の学童送りによる遅刻を査定から除外）
話せる場を作る（定期的な面談で離職防止と信頼関係構築）
多能工を進める（急な休みにも対応できる体制）
つながりを作る（社内イベントやボランティア活動で交流促進）
仕事を「見える化」（総会で売上等を共有、仕事のやりがいを高める）
⇒社員の満足度が向上し、定着率が高まる



<各テーブルでの感想等（まとめ）>

- ◆情報発信の強化と多様化：SNSやショート動画を活用し、若者を含む多様な主体が竹原の魅力を発信することが重要。
- ◆子育て世代への支援と理解：地域・職場全体での子育てへの協力、情報提供（ママ通信など）、交流の場のニーズが高く、社会全体で子どもを育てていくことが必要。
- ◆企業における福利厚生の重要性：働きやすい職場環境、従業員を大切にする福利厚生の価値が再認識され、他社事例からの学びも重視。
- ◆多様な立場からの意見交換の価値：異なる立場の人々が集まる今回の会議の意義が大きく評価され、このような対話の場の継続が強く望まれる。
- ◆地域活性化への期待と貢献意欲：竹原の潜在的魅力を活用し、「ALL竹原」の精神で、各々が地域活性化に貢献したいという前向きな姿勢が多く見られた。



- 【司会】
(株)たけはらケーブルネットワーク
坂井 篤子 さん
(有)ほり川 堀川 大輔 さん



■ALL竹原の令和8年度事業計画

市ホームページに情報を掲載！<右下の二次元コードから>

参加した高校生の感想



- ・このような会議に参加できたから、普段は話をしたことのないような竹原市の企業の方と話をすることができた。企業の発表では、会社の雰囲気が分かってよかった。将来の企業選びの参考になった。
- ・普段は話せない人と話すことができた。市長、商工会議所の方と話せた。思っていたより大人の方の対応が優しくかった。
- ・様々な立場の人が集まって話をし、多様な意見を聞く中で、竹原市の学校に通学する高校生として、ハッとさせられることが多くあった。その一つに、女性グループの意見で藤三の敷地の隣にある「池田勇人さんの像」の広場を有効活用できないか、という意見があった。自分はいつも通学で見ているが、何も思っていなかったの、そういう視点があるのかという気づきがあった。
- ・100名以上集まって話を聞く機会はこれまでになかった。女性グループ、企業の方から、様々な視点からの課題を知ることができた。視野が広がった。

- ・次回もぜひ参加したい。
- ・参加者の皆さんが、竹原市への思いが強いことが分かった。
- ・市外から通学しているが、竹原市のことがよくわかった。
- ・企業が、従業員のために福利厚生について、よく考えられていることが分かった。従業員、一人一人が楽しく、快適に仕事ができるよう、アイデアを出していることが分かった。就職希望だが、働くことに対して、プラスのイメージを持つことができた。
- ・竹原市をどう改善していくかについて話せてよかった。人口減少の中で、どういったイベントをするか、どういう取組を行っていくか、自分たちにも何かできることはないかという気持ちになった。

ALL竹原きらっと未来創造会議 事務局

竹原市企画部企画政策課（竹原市中央五丁目6番28号 TEL：0846-22-0942）
竹原商工会議所（竹原市中央三丁目7番1号 TEL：0846-22-2424）

ALL竹原きらっと未来創造会議
の情報ははこちらから

